

服部道子 95歳

2024年10月11日6時20分頃ある方から電話がありました。『服部さん喜んでください。おめでとう。被団協がノーベル平和賞を受賞。7時のニュースを聞いてごらん下さい。良かった、良かった。苦勞が報われたね。又電話するね』と伝えて切れました。

前々から今年こそはと首を長くして待ち焦がれていましたが、ICAN が受賞しただけに今年は諦めていました。それだけに喜びは大でした。本当なのかニュースを聞くまでは心配！鼓動がバクバク、私が生きている間に聞けた事に感動喜びました。早速『あの日』犠牲になった人々の死が無駄で無く報いられた事を報告し、安堵し祈りを捧げました。

私は戦後徹して核兵器は使用禁止「過ちは繰り返さない。繰り返せない。」と活動してきました。あの日のピカドン想像をはるかに超えたものでした。私は当日の出来事をこの目で見、耳で叫びを聞き鼻で臭いを嗅いで、手で触れて参りました。何百人という人をも茶毘に伏して参りました。戦争は決して避けなければなりません。地球から核兵器（ウラン、プルトニウム）を廃棄除去しなければなりません。

【廃絶】しかありません。訴えることはまだまだ沢山ある。世界は禁止条約を認めました。草の根の人達と一丸となって主張するのみです。負の遺産を残してはなりません。

真の平和を望みます。